

## 審査前の暗記事項一覧

以下に昇級審査時に、成年部（高校生以上）の審査課題である質疑応答に対する暗記事項を提示します。

なお、質疑応答に回答する際は、必ず回答の最後は『です。・ます。』で終わること。

### 黄帯（8級）

Q：トゥルの意味

トゥル	意味
チョンジ（天地）	天地は東洋では万物の創造、歴史の始まりとされているので最初に習う型に名づけられました。動作数は19。
タングン（檀君）	紀元前2333年に始めて朝鮮を建国したとされる伝説上の王、檀君の雅号にちなんで名づけられました。動作数は21。

Q：立ち方の説明をしてください。

立ち方	説明
ニウンチャソギ	<ul style="list-style-type: none"><li>・後ろ足の外側を真横に向ける。 （内側は約15°内側に向きます。）</li><li>・前足の外側を真っ直ぐに向ける。 （内側は約15°内側に向きます。）</li><li>・横幅は後ろ足の踵のラインに前足の親指側が来るように置く。</li><li>・縦幅は後ろ足の小指側から前足のつま先が肩幅の1.5倍。</li><li>・後ろ足の膝は、膝の先端とつま先が揃うまで曲げる。</li><li>・前足の膝は、踵の先端と膝の先端が揃うまで曲げる。</li><li>・体重配分は、体重配分は前足：後ろ足で3：7。</li><li>・体の向きは常に45°。</li></ul>

【動作名称】

- ・赤字のものを発音すること。
- ・単語末尾の『ク』『プ』は日本語では発音しません。
- ・④については、体重が乗っている方の足を基準に同じ側の手を『パロ』、反対の手を『パ  
ンデ』とします。ただし、均等に乗る場合（コンヌンソギ）は前足が基準となります。

Q：チョンジに出てくる新しい動作の名称

① 立ち方	② 使用部位	③ 高さ区分	④ 正・逆	⑤ 動作名称
ニウンチャソギ(L字立)	アンパルモク(内腕)	カウンデ(中段)	パンデ(逆・反対)	ヨンマッキ(横受)

Q：タングンに出てくる新しい動作の名称

① 立ち方	② 使用部位	③ 高さ区分	④ 正・逆	⑤ 動作名称
ニウンチャソギ(L字立)	ソンカル(手刀)	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	テビマッキ(対備受)
コンヌンソギ(歩+立)	アプチュモク(正拳)	ノブンデ(上段)	パロ(順・正)	チルギ(突)
ニウンチャソギ(L字立)	サンパルモク(双腕)	※区分の無い動作なので発しない	※区分出来ないので発しない	マッキ(受)
コンヌンソギ(歩+立)	※チュキヨマッキにアンパルモク (内腕)はありえないので パルモクのみを発する	※上段のみなので発しない	パロ(順・正)	チュキヨマッキ(掲+受)
ニウンチャソギ(L字立)	ソンカル(手刀)	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	ヨブテリギ(横+毆打)
ニウンチャソギ(L字立)	ソンカル(手刀)	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	テビマッキ(対備受)

Q：サンボマツソギ5・6番に出てくる新しい動作の名称

① 立ち方	② 使用部位	③ 高さ区分	④ 正・逆	⑤ 動作名称
ニウンチャソギ(L字立)	アプチュモク(正拳)	カウンデ(中段)	パンデ(逆・反対)	チルギ(突)
ニウンチャソギ(L字立)	オープンソク(伏せた+指先)	カウンデ(中段)	パンデ(逆・反対)	トウルキ(貫)

Q：キボンチャギに出てくる新しい動作の名称

① 立ち方	② 使用部位	③ 高さ区分	④ 正・逆	⑤ 動作名称
ニウンチャソギ(L字立)	パルモク	カウンデ(中段)	※区分出来ないので発しない	テビマッキ(対備受)

【蹴りの名称】

Q：黄帯で習得する蹴りの名称

キボンチャギに出てくる蹴り	それ以外の蹴り
ティミョ・アブチャプシギ(飛+前+蹴)	ネリョチャギ(落+蹴)
ティミョ・ヨブチャチルギ(飛+横+蹴+突)	パンデルリョチャギ(逆+廻+蹴)
ティミョ・トルリョチャギ(飛+廻+蹴)	コロチャギ(掛+蹴)
ティミョ・トラヨブチャチルギ(飛+回+横+蹴+突)	